

いのちを守るため、

大震災の前に

危険性診断と

適切な対策を



地域密着の工務店、建築職人だから  
できることがある!

2024

11.16(土)

13:00 → 17:00

けんせつプラザ東京  
5階 会議室

東京都新宿区北新宿1-8-16  
東京土建一般労働組合 本部会館

参加無料 どなたでも  
ご参加いただけます!

第1部 | 基調講演  
今、何を学び、  
どう行動すべきか

日本を代表する  
木構造のトップランナー  
山辺豊彦さん

第2部 | クロストーク  
まちば  
「町場」の大工を代表して  
東京建築カレッジの  
橋本英夫先生が山辺さんと  
語り合います。

第一線で活躍する東京建築カレッジ  
卒業生も参加予定。

震災が起きる前に、地域に根ざした建築従事者は何ができるのか。地域住民の思いや経済状況に即して、できることを着実にを行うためには……。



能登半島地震で倒壊した家屋 / 写真提供：山辺豊彦

今年1月1日の能登半島地震は、地震が人々のいのち、暮らしを脅かす重大な自然災害であることをあらためて私たちに突き付けました。地殻変動期に突入した日本列島は全国どこでも地震による甚大な災害の直撃を受ける可能性があります。特に家屋倒壊による犠牲をどのように減らすか、という点で建築従事者の役割は大きいといえます。

震災が起きる前に何をすべきか。国や自治体の施策の実行に活動をとどめずに、住んでいる人の思いや経済状況に即して、できることを着実におこなうことが大切です。それに応えられるのは、各地域に根ざして生活している建築従事者、町の工務店です。「町場」の建築従事者が自分たちの職業的な使命である自覚を呼び起こし、既存建物の危険性診断と対策に取り組んでいきましょう。この活動は、「町場」職域の再生に結実するはずです。

第一線で活躍する東京建築カレッジ卒業生も参加予定です。

## 第1部 | 基調講演



山辺豊彦

Toyohiko Yamabe

1946年 石川県生まれ、1978年 山辺構造設計事務所設立。一社) 日本建築構造技術者協会 関東甲信越支部 東京サテライト顧問、一社) 住宅医協会 理事、一社) 木造施設協議会 顧問。2009年初版発売の「ヤマへの木構造」(エクснаレッジ)は大ロングセラー。

## 第2部 | クロストーク



橋本英夫

Hideo Hashimoto

建築大工ノ一級建築士  
東京建築カレッジ  
教務運営委員

東京土建一般労働組合の武蔵野支部(現三鷹武蔵野支部)委員長を務めていた時に、東京建築カレッジ開設準備を知り、初年度から実技実習指導に参加。毎年の新入生には授業の初めに「日本における建築の基本は木造建築。この学校では伝統的な大工技術を通して建築の基礎を学ぶ。建築現場を統括できる人を育てるのが目標」と話している。

## 参加登録

会場準備の都合上、下記をご記入の上、FAXまたはメールで参加登録をお願いします。

FAX: 03-5950-1774 E-mail: [info@doken-college.ac.jp](mailto:info@doken-college.ac.jp)

所属(会社名・学校名・組合支部名など) 職種・学科など

お名前(フリガナ)

参加人数  名

ご連絡先電話番号

メールアドレス

東京建築カレッジ 公開講座への参加回数 初めて・2回目・3回目・4回目以上

山辺豊彦さんに聞いてみたいこと

東京建築カレッジに期待すること、ご質問



## Access

けんせつプラザ東京 5階 大会議室

東京土建一般労働組合本部会館

東京都新宿区北新宿 1-8-16 ☎ 03-5332-3971

JR総武線 大久保駅 北口より徒歩3分/JR山手線 新大久保駅より徒歩8分

## 東京建築カレッジとは

「日本における建築の基本は木造建築にある」という考え方で、伝統的な大工技術を通して建築の基礎を建築業界で働きながら学べます。手道具・手刻みへのこだわり、伝統構法を取り入れた実習棟実習などが特色。1996年4月開校。母体は東京土建一般労働組合。

入学相談、  
授業見学  
などの  
お問い合わせ

〒170-0014 東京都豊島区池袋 1-8-6  
東京土建技術研修センター内 東京建築カレッジ  
☎ 03-5950-1771 FAX 03-5950-1774  
[info@doken-college.ac.jp](mailto:info@doken-college.ac.jp)  
<http://www.doken-college.ac.jp/>

